

受益者の皆様へ

2020年2月25日

**基準価額が5%以上下落したファンドとその背景について（2月25日）**

下記公募ファンドの2月25日の基準価額は、前営業日比5%以上の下落となりました。基準価額下落となりました背景と今後の見通しについてご報告します。

【基準価額が前営業日比5%以上下落したファンド】

| ファンド名         | 2月21日  | 2月25日  | 前営業日比 | 騰落率   |
|---------------|--------|--------|-------|-------|
| 世界ツーリズム株式ファンド | 9,816円 | 9,090円 | ▲726円 | ▲7.4% |
| 世界シェールガス株ファンド | 8,567円 | 8,074円 | ▲493円 | ▲5.8% |

【為替】

| 為替レート      | 2月21日  | 2月25日  | 前営業日比  | 騰落率   |
|------------|--------|--------|--------|-------|
| ドル/円       | 112.11 | 110.91 | ▲1.20円 | ▲1.1% |
| ユーロ/円      | 120.93 | 120.33 | ▲0.60円 | ▲0.5% |
| カナダドル対円レート | 84.60  | 83.43  | ▲1.17円 | ▲1.4% |

※為替レートの数値・前日比は投信協会のデータに基づいて作成。

【株価】

| 株式指数                 | 2月20日    | 2月24日    | 前営業日比  | 騰落率   |
|----------------------|----------|----------|--------|-------|
| モーニングスター・グローバル・マーケット | 2,518.79 | 2,427.83 | ▲90.96 | ▲3.6% |
| S&P500 エネルギー株指数      | 411.11   | 386.70   | ▲24.11 | ▲5.9% |

**基準価額下落の背景**

（世界ツーリズム株式ファンド）

韓国やイタリアで新型コロナウイルスの感染者が急増したことを受けて市場心理が冷え込み、株安が進行しました。特に、渡航を控える動きが強まるとの懸念から、旅行関連銘柄が幅広く売られました。為替市場では、リスクオフの動きが強まって円に資金が流入し、大幅な円高となりました。

（世界シェールガス株ファンド）

新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからず、渡航及びサプライチェーンへの影響を通じた世界景気の一時的な悪化懸念が再燃し、昨日(2/24)は世界的に株価が急落し、為替市場ではリスク回避の円高が進行しました。さらに、原油先物価格も大きく下落(2/24：▲3.9%)したことで、S&P500 エネルギー株指数は、前週末の下落(2/21：▲1.3%)に続いて、昨日(2/24：▲4.7%)も大きく下落しました。このような中、シェールガス関連株式も、幅広い銘柄で売られました。

## 今後の見通し

### (世界ツーリズム株式ファンド)

新型コロナウイルスの感染者拡大による株式市場への心理面での影響は大きく、短期的には慎重な見方が必要と思われれます。しかしながら、旅行・観光産業が世界的に経済成長率を上回るペースで成長を続けていること、また、同業界へのファンダメンタルズ面での影響が限定的であると考えられること、加えて、同セクターが歴史的にみても調整局面での回復力に優れていることから、拡大基調を維持すると見込んでいます。

### (世界シェールガス株ファンド)

弊社は、シェールガス関連株式について、中長期的には強気の見方をしていますが、短期的には新型コロナウイルスの世界的な感染拡大阻止に向けた有効な対策が見つかるまでは、慎重な見方が必要と考えます。感染者数の増加ペースは世界的に鈍化しつつあるものの、海外渡航の抑制や中国の主力生産拠点での工場閉鎖に伴うサプライチェーンの障害などの影響で、足元の世界経済が一時的に減速するとの思惑から、シェールガス関連株式も当面は下振れリスクが予想されます。しかし、感染者の傾向的な減少など、世界的に事態收拾に向かう兆候が見られれば、世界的な渡航及び生産の反動的な回復により、エネルギー需要の増加が見込まれるため、シェールガス関連銘柄の株価も回復に向かうものと予想されます。

## <投資信託に関するご注意>

### ■ 投資信託に係わるリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としております。当該資産の市場における取引価格や為替レートの変動等により基準価額は影響を受けるため、損失が生じる可能性があります。したがって、金融機関の預金とは異なり元本が保証されているものではありません。

また、ファンドは預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではなく、信託財産に生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。第一種金融商品取引業者以外の金融機関は投資者保護基金に加入しておりません。購入の申込みにあたりましては「投資信託説明書（交付目論見書）」を予めあるいは同時にお渡しますので、必ず内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

### ■ 投資信託に係わる費用について

①お申込時に直接ご負担いただく費用 申込み手数料： 上限 3.85%(税抜 3.50%)

②ご解約時に直接ご負担いただく費用 信託財産留保額： 0.3%~0.5%

③投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬： 年 1.606%（税抜き 1.46%）～2.618%（税抜き 2.38%）

（ハイウォーターマーク方式による実績報酬 22.0%（税抜き 20%）がかかるファンドもあります）

④その他費用

有価証券等の取引に伴う手数料（売買委託手数料、保管手数料等）、監査費用、  
信託財産に関する租税、信託事務の処理等に要する諸費用等

※詳しくは各商品の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

※上記のリスクについては一般的な投資信託を想定しています。また、費用の料率等につきましては、キャピタル アセットマネジメントが運用する投資信託のうちでの上限や範囲を示しております。投資信託に係わるリスクや費用は商品ごとに異なりますので、ご投資をされる際には、事前に「投資信託 説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

<当資料に関するご注意>

- 本資料におけるデータ・分析等は過去の実績に基づくものであり、将来の市場環境の変動等を保証、示唆するものではありません。
- 本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が、信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載されたキャピタル アセットマネジメント株式会社の見解や見通しは本資料作成時点のものであり、市場環境等の変化により、予告なく変更する場合があります。

**キャピタル アセットマネジメント株式会社**

金融商品取引業者関東財務局長（金商）第 383 号

加入協会： 一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会